

波紋

平成13年

7

JUL

No.193

EDITOR: 妹尾峰男

PUBLISHER: 森松株式会社

第16回 改善発表会

5月19日 13:00~

1位



「キン・コーン・カン」… 大和田 夕美(とうもろこし・サークル) 賞金6万円

今回は、初の試みで、インターネットを使った販売方法を考え、営業アシスタントとして少しでも売上の協力をしたいという思いが、今回の改善に結びついたと思います。売上金額としては小額ですが、無限大の可能性を期待し、これからも日々努力し、新しい事に、チャレンジして行きたいと思います。また、テーマですが、キン=お金。コーン=サークル名のとうもろこしとコンピューター。カン=目指せ完売です。

頂いた賞金でサークル皆で焼肉を食べに行ってください。

2位



「YKK」… 安井 浩二(キャロット・サークル)

賞金4万円

今回の改善では、キャロットのアシスタントが「一人」になり日常業務の効率化を考えました。その中で特に「需要期での別製デスクマットの対応」と「東京(営)の売上伝票のチェック」の2点を問題点として取り組みました。改善方法は、ご存知!牧野さんによるアクセスを使いこなした手作りソフトです。

デスクマットでは、従来の「オアシス」(デスクマット受注ソフト)を更に改良し、テーブル品番での入力で見積依頼に即対応できるソフトにバージョンアップさせる事ができました。また、伝票チェックでは、販売管理から東京(営)の売上を抽出しエクセルデータにして、それをEメールで定期的に送る様にしました。これで、東京⇄名古屋の距離を気にせず、チェックが可能になりました。

この、2点の改善により日常業務の時間が、大幅に短縮させることができました。

おかげさまで、第2位を頂きました。次回は、1等賞を取れるように更なる改善を目指します。

さて、今回のタイトル「YKK」の意味?特に理由はありますが、

Y=YASUI K=KUROMATSU K=KOSAKA と単純に頭文字を並べただけです。

3位



「かえるパート4」… 村田 恒夫(レモン・サークル)

賞金3万円

今回の改善発表では、助成金GET計画PART2及び電力節電に取組みました。助成金に関しては、認定申請書・支給申請書等の作成するにあたって大変苦労しましたが、助成金を通して色々勉強することが出来ました。【参考:支給申請書でも書類の厚み(約35mm)のもの有り】電力節電に関しても、実績で節電の確認が出来ました。但し、3ヶ月分ですので1年を通しての効果は、今後、確認していきます。今回は、第3位でしたが、次回も上位入賞を目指して頑張りたいと思います。本当に有難うございました。

「今・すぐ行動を変えよ」

畳表・シイタケ・ネギ・タオル・文具・日用品雑貨など海外品に押され、国産品が販売不振になっている。我社は、輸入品販売も行っているが、社内生産している製品が打撃を受けています。このままの状態では、社内生産を撤収しなくてはなりません。

振り返って考えますと、3年前と現在を比べてみて、森松社内の生産改善が全然なされていない、設備的にも生産方式も進化が見られない部門が多い事は悲しい現実です。

資本主義経済では、効率の競争だ、ライバル会社(国内であろうと海外であろうと)と比較して効率が悪い生産・経営をしていけば、負けるのは当然でしょう。改善・進歩・変化の無い企業は「倒産」が待っているだけです。それは、社員一人ひとりの意識改革にかかっています。そして、私が日ごろ社内話しているように「気付きの無い人、気付いても行動を起こさない人」は、会社を存続させるためには、退社してもらおうしありません!!

森松の社内生産体制を大きく変化させ、効率が上がらない部署は廃止するか、外注方式・海外移転に切り替えます。幸い今年入社した上田さんは、その道の専門家です、彼の活躍を大いに期待しています。今年9月末までに、大改革

を行いますが、ビックリしないで、皆さん、心の準備をして下さい。

会長 森 信之

「紙に埋もれる」

コピーを取ります。たまにとり間違ひもあります。FAXも毎日頻繁に届きます。半分はセミナーの案内であつたりします。郵便物も言うに及ばず届きます。ほとんどは広告のようなものですが、時には使える情報を載せたものも入っているのです。これらのものは右から左に捨てることはできません。しかし、封筒、FAX紙、コピー紙：これらは分別が必要で、これら何とかならないでしょうか。どうせなら名古屋のごみ処理システムを紙と名の付く物なら何でも処理できるようにして欲しいものです。(郵便物を統一してしまうということはまず無理です。)

溜まる一方の紙に対して、今はスキヤナーというものがあります。全てデータとして保管し、紙は廃棄してしまうというのが賢いやり方かもしれません。しかし、メモ紙やポストイット等、紙を思い浮かべると紙自体に害があるということではなく、紙が一番安価で、効果的な媒体であるため利用している、ということになります。電子メールよりもFAXのほうが相手に伝わりやすいことも同様に紙は必要です。

現在足元に①コピー・プリンター紙②封筒、雑紙③FAX紙と籠があり、分別してあるのでも後で分別する、という手間はありませんが、これらを分別・整理することに時間をかけても実際その紙(=情報)にはどれぐらいの価値があるのか?ということ

を思っています。



社長 森 直樹

「イチロー」

連日報道される大リーグの「イチロー」の活躍を見聞きしていると、ほんとうにうれしくて仕方がない。時には胸がジーンとして涙さえ出てくる。あの守備、あの走り、あの打法、どれをとつても見飽きることはない。

大リーグでやりたいと言う「夢」に向かつての「目標」を掲げた時からの努力、努力の積み重ねそして探究心、(小学校の時から1年365日のうち360日はバッティング通い、筋肉トレーニング、等)：

その結果は自分の実績に現れただけでなく、シアトルマリナーズと言うチームの皆をも、「変える」原動力になり、素晴らしい結果を出している。

その「イチロー」の影響で日本のことを知らない多くの一般のアメリカ人が日本を知り、理解してくれる人が多くなるチャンスになっているのは、うれしい限りです。経済大国日本は「メイド・イン・ジャパン」として、多くの商品では知られていません。でも一人の人間で多くのアメリカ人の心をつ打つ行動はそれに勝るほんとうに素晴らしいことだと思います。ガンバレ!!

イチロー……

森 ちか



(レモン)

「操縦士」

パンフレットの「離陸から着陸までをあなたの手でやって頂きます」という文字に躍らされて、グアムで「セスナの体験操縦」をやってきました。「まあ、少しでも操縦桿が握れればいいや。」くらいの感覚で空港へ行くと、待ち時間に操縦法のビデオを見せてくれます。「こんなんじゃ判る訳無いですよねえ」と言うインストラクターと2人でいかに頼りなげなセスナに乗り込むと、早速エンジンをかけさせてくれました。滑走路へのタキシング中、ラダーペダルで方向を変えさせてもらい喜んでいると、メーター(対気速度計)を指差しながら、「60ノット(たぶん約120km/h)になったらこんな感じで操縦桿を引いてください」との指示。「へっ?」と思ひながらも言った通りにしたら本当に揚がりました!!

最初は力が入ってガチガチでしたけど、手を離してもまっすぐ飛んでるセスナの安定性に慣れてくるとだいぶ余裕も出てきました。ココス島上空では、「機体を45度にバンクさせたまま1500フィートの高度を保って旋回してください。」なんて、まるで訓練飛行のような事までさせてもらいました。また港では撃ち落とされるんじゃないかと思う程しつこく米軍艦船上空を旋回してもらって、いよいよ着陸です。私は最初の進入方向を決めさせてもらった後は機体の姿勢を水平に保つのが精一杯でしたが、インストラクターがスロットルを絞って高度を落とし、最後は操縦桿をグッと引きつけて機を失速させ着陸させてくれました。約40分、グアム島半周のフライトでした。：冒頭の旅行会社のコピーはウソじゃありませんでした。本当に貴重な体験をさせて頂いたと思います。皆さんも機会があれば一度挑戦してみたいかがでしょうか?

日本に帰って来てからは、パソコンの中のグアム島上空を「零戦」や「紫電改」、「雷電」で翔け回って余韻に浸っていますが：今なら言えます、このフライトシミュレーターはかなりリアルだ……



坂本 隆 志

(とうもろこし)

読後感

「この人のためなら」と思われる人の共通点 齊藤茂太 著

成瀬勝英 (ひまわり)

人の為に何かをするという行為は通常よほど心に余裕やゆとりが無いとなかなか出来るものでは有りません。特に自分が忙しいと感じている時程、周囲の状況を理解する事が困難になると感じられます。しかし特定の人物。特に自分にとって好意的な感情を持った人を除いては、というのが本質的に人には有るようで、例えて恋人であったり又は仕事の上で実務経験の少ない新人などが困っている時など差ほどの苦もなく手を差し伸べる事が出来ると思います。これには心理的な要素が働く事で良く思われたいとか頼りにされると人は心地よさを感じる為だと考えられます。

本書の核心部分はそうした人間の心の動きを考察し、この人の為ならと思われる人間の行動や考え方を示した内容で、有る意味では当たり前の事を徹底する人物こそ、人からの共感や心を動かす事だと感じました。挨拶、感謝、人を大切に思う心、そして何よりも一生懸命な姿勢が人の心を打つのだという事。常識と言われることでも決してすべてに通用するものではなく一つの事に捕われぬ柔軟な姿勢、謙虚さ等。当たり前の事を当たり前にする難しさも有ると感じています。自分を見詰めたおす意味でも良い勉強になりました。

チーズはどこへ消えた? スペンサー・ジョンソン 著

森下友博 (トマト)

この本を読み、内容が単純ではあるが奥深い内容であるということが率直な感想である。社会・仕事・プライベートに置き換えたとしても、この変化の早い時期において誰しもががついていけるようになることが大切なことであると思う。

変化に対して臆病になるのではなく、この本の中にも記してあるが

1. 変化は起きる (チーズはもっていかれ、消える)
2. 変化を予期せよ (チーズが消えることに備えよ)
3. 変化を察知せよ (つねにチーズの匂いをかいでいれば、古くなったのに気がつく)
4. 変化にすばやく適応せよ (古いチーズを早くあきらめれば、それだけ早くチーズを楽しむことができる)
5. 変わろう (チーズと一緒に前進しよう)
6. 変化を楽しもう (冒険を十分味わい、新しいチーズの味を楽しもう)
7. 進んですばやく変わり、再びそれを楽しもう

変化を念頭に置くことで変わることが怖くないと思う。今現在であぐらをかくことで進化はないし、物事に対応できなくなると思う。

例えば商品に置き変えてみれば、流行廃りがとても早い。今売れているものが、1~2ヶ月先には今の物が売れる訳でもない。最近では、多くの商品がこのサイクルで売れ行きが悪くなり、最悪の場合企業経営を圧迫する。企業においても、情勢変化に対応できず以前からの仕事にしがみつき、変化ができず新しいことを始めない結果、経営不振となっていく。これに気づいた企業が生き残っていき、対応できない・しない企業が消えていく。これを景気のせいにしてしている事も良くある話であると思う。

人格及び性格が十人十色であるために、色々なタイプの人間がいると思う。それをうまく、2人の小人と2匹のねずみの話にし、とても判りやすい内容であったと思う。ねずみのスニッフとスカリー・小人のヘムとホー、私自身ねずみの様な単純な感覚とホーの様な感覚を持って行きたいと思う。また、心が変われば...のお話版として色々な人に伝えて行きたいと思う。

トヨタ「環境経営」 千葉三喜男 著

吉岡孝記 (とうもろこし)

この本を読んでトヨタの環境に対する取り組みや今後、環境対策を行わない企業は取り残されるし、新たなビジネスチャンスも生まれてくる事をつくづく感じさせられました。また、トヨタのリサイクルがこんなに進んでいるのかと感心させると同時にそれを一人で立ち上げた担当者の執念を感じました。これこそトヨタ伝統の美質である「律儀さと一生懸命」でもって取り組んだ結果だと思いました。加えて豊田章一郎氏が提唱した「競争と協調」で「企業は孤立して存在し得ない」と明確に打ち出している。ご存知の通り「共生」と言う概念は、これからの企業経営のみならず私たち人間の将来を考える際の重要なキーワードであり、自然との共生、企業と社会との共生、当然の事ですが、自然環境のキャパシティ内でしか人間は生きられないし人間活動も出来ない。自然とどう折り合いをつけていくか、環境問題はそこを我々に突きつけられている。この認識がなければどんなに立派な「理念」や「方針」であろうが「絵に描いた餅」に過ぎなくなると感じました。

2001年

7月の予定



2日(月) 中国法律セミナー

13時00分～17時00分

3日(火) 黒松さん誕生日

7日(土) 第一土曜休み

9日(月) 誕生会

12日(木) I-SOT東京ビッグサイト

14日まで

13日(金) 情報会・マルベリー

18時30分～

14日(土) 第二土曜休み

(倉庫整理日)

16日(月) 改善会議

18時00分～

18日(水) 長崎さん誕生日

20日(金) 海の日(三連休)

21日(土) 第三土曜休み

25日(水) 谷澤さん誕生日

経営会議 7時30分～

営業会議 15時00分～16時30分

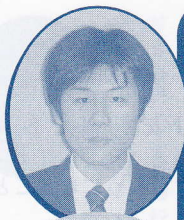
企画営業会議

26日(木) 生産会議 18時00分～

編集会議 18時00分～

28日(土) 第四土曜休み 17時30分～

新入社員紹介



梅田さん

皆さん、はじめまして。経理部新入社員の梅田です。

入社して、2ヶ月になりますが、最初の1ヶ月は要工場で研修をさせて頂いていました。入社したばかりで仕事だけでなく会社にも慣れていない頃に親切に教えて頂きまして本当にありがとうございました。

現在は、本社3Fで、半日、営業事務・半日、経理の研修をさせて頂いています。

本社に来た当初は、要工場とはまた違う雰囲気に対し緊張していましたが、経理部、営業一部で研修を重ねていくにつれ、少しずつ慣れてきました。研修では、仕事だけでなく、仕事に対する姿勢や考え方も丁寧に教えて下さるので社会経験の少ない私には、本当に勉強になっています。今後も、上司の方や、先輩方から多くの事を吸収して、早く自分に力を付けていきたいです。

まだまだ社会人として未熟な私ですが、皆さんこれからもよろしくお願いします。

「フラッシュ無しで、大丈夫ですよ」と申しあげた写真、ハレーションを起こしている事と確信していましたが、御覧の通りです。

私の嫌いな言葉:ハゲる、抜ける、光る(最近、開き直って、自分で言うようになってしまったのが、ウラメシイ)それと、中途半端、無神経、不誠実。それでは

クイズ/私の好きなモノ

1. ある国の街の名前です。どこの国でしょう。オビエド、ヒボン、ホンダラリア、オリテ
ヒント:強豪サッカーチームなのに、W杯で一度も優勝したことのないチームの国。
2. 「唐物、台目、盆点」の取得には、お金と時間がかかります。何の免許でしょうか。
ヒント:日本が誇る伝統文化です。
3. 「お先にどうぞ」は英語で何と言いますか。
ヒント:日本語から英訳すると ダーメ ダーメ
4. マリア・カラスの名唱で知られる「清らかな女神」の入っている曲の作曲者は、誰でしょうか。
大ヒント:「ノルマ」
5. ピカソの反戦の名画「ゲルニカ」は、今何処に収納、展示されているでしょうか。
ヒント:プラド美術館ではありません。

答 の解かった方、又は知りたい方は私宛、Mailをどうぞ。



上田さん

編集後記

私がアコースティックギターの練習を始めてから一年ほど経ちました。友人の結婚式で弾き語りをしようと言われたのがきっかけでした。

学生の頃、エレキギターを触った程度だったので弾けるようになるのか不安でしたが、友人が弾いているのを見て「カッコイイ」と思ってしまった。すぐにギターを購入しました。

始めてから2、3ヶ月の頃は、なかなか上達せず何回も止めようと思いましたが、だんだん弾けるようになってくると楽しくなりました。

友人の結婚式は11月、残り数ヶ月ですが当日に失敗しないように練習していきたいと思えます。



稲葉善貴 (ポビー)

